回覧

「石神台ガーディアン」2020年12月報告

2020（令和2年）年12月22日
石神台ガーディアン代表　中野靖久
編集者　小野修司

1） 団員数

昼間合同巡回実施者：	２８名
夜間合同巡回実施者：	２３名
青パト巡回実施者：（同乗者を含む）	３名
以上のどれかの巡回をしている人数：	５１名

個人的に巡回している方70名を加えると、トータル121名です。
やはり夜巡団員が少なくなっています。　　団員募集中！！

2） 11月16日～12月15日の巡回実施状況。（２丁目の昼のみ自粛中）

✧　合同歩行パトロール （自分の住む丁目を中心に実施）

	昼		夜	
	実施日数	延べ参加者	実施日数	延べ参加者
１丁目	４日	３８名	１０日	３７名
２丁目	日	名		６０名
３丁目	８日	２２名		３０名
全体	１２日	６０名		１２７名

※12月に入ると途端に寒い日が多くなりました。天気も安定して晴れの日が多く、相変わらず新型コロナウィルス拡大中ですが、夜空の星を仰ぎながらの巡回は気持ちよいものです。

※青色回転灯装着車によるパトロール　（石神台内を現在は3台の登録車で随時実施）
１１月：実施車両数：１台　　実施回数：８回
延べ走行時間：６時間　２５分　　走行距離：　４６．５㎞

✧　通学路安全パトロール
登校時（吉野廣さん 會田重道さん 今村敬子さん 太田庸子さん 小泉和子さん 林久子さん 天野えり子さん実施分）日数 21日。

3） 不審車両と区別するステッカーの表示について

	調査した夜間８日間			
	路上駐車台数	ｽﾃｯｶｰ有数	ｽﾃｯｶｰ有比率	９０％を目標にしていますので住民の皆様に更にご協力をお願いいたします。
１丁目	３３台	２７台	８１．８％	
２丁目	２２台	１８台	８１．８％	
３丁目	１４台	１０台	７１．４％	
全体	６９台	５５台	７９．７％	

今月は各丁目とも90％に達せず、残念でした。是非住民の皆様の協力をお願い致します。

4） ガーディアンの気持ち…

先月200号記念号を自治会回覧で皆さんにも読んで頂きました。その中のお一人から次のメッセージを頂きましたので掲載したいと思います。

《ガーディアンの皆様》

暑い日も寒い日も石神台をパトロールして下さり、ありがとうございます。
いつか私達夫婦も参加させて頂きたい思っています。今は仕事と家事で疲れてしまって難しいですが、数年後楽しみにしています。お身体に気を付けてこれからも宜しくお願いします。

－ 感謝の気持ちをこめて －

うれしいメッセージありがとうございます。住民の中にこんな素晴らしい方がおられると、石神台ガーディアンの将来も安泰と信じています。今は一生懸命お仕事をされて定年になって時間が出来ましたら、是非参加してください。お待ちしています。

5） 大磯警察より

＊オレオレ詐欺のような特殊詐欺の被害は今月も増えていません。このまま無くなればいいのですが。今年1月からの累計は13件、約2652万円です。決して少ない額ではありません。
＊先月に続いて大磯地区で空き巣の被害が数件発生しました。又自転車盗も4件程発生しました。
＊年末に向けて外出も多くなると思いますので戸締りはしっかりとお願い致します。

6） 12月18日「大磯町」消費生活講座 「手口を知って消費者トラブル未然防止」より

平塚市消費生活センターの原囿信夫さんの講演で次の様な話がありました。

＊インターネットや新聞広告などで、初回お試し500円など低価格で申し込ませ、実は定期購入させる手口に注意。定期購入条件が見にくい小文字で書かれています。
＊「火災保険で屋根工事ができます」広告に注意。 ➤ 火災保険会社に虚偽の申請をさせられた。
➤ 保険が下りた金額と工事費の差額を要求された。 ➤ 解約に高額な請求をされた。
などの例があります。

契約で困ったときは、電話「188」（いやや）または「平塚市消費生活センター」電話21－7530へ

7） 編集部より

＊世の中はコロナ禍で、なかなか普通の日常生活に戻れませんが、石神台ガーディアンは設立20年、月報300号に向けて再スタートになります。ガーディアンの団員は頑張って行きますが住民の皆様もご協力とご支援をお願い致します。

挨拶で犯罪なくそう石神台

石神台ホームページ

https://ishigamidai.com 海の見える街 大磯町石神台 検索

大磯警察 生沢駐在所だより（ふれあいパトロールたかとり）は：

http://www.police.pref.kanagawa.jp/ps/69ps/69pic/69004_12.pdf

8）番外・付録・おまけ

「年賀はがき考」　　コレヤン

新しい年をご家族で迎え、喜びの時かと思います。そのめでたい時に、こんな話題を書くことで、お叱りを受けるかと思いますが、年末が近づくと、「今年身内に不幸がありましたので新年の御挨拶を失礼いたします」と欠礼葉書が届きます。
先日、元上司のＭ氏から欠礼葉書が届き、その文面を見て日頃の胸のつかえがとれたようで、家内にその葉書を見せ、「今日は良い日だ！」と大声で言いました。「新年の御挨拶は失礼させていただきますが」の後に「皆様からの年賀状はいつものようにお待ちしております」と書かれていたではありませんか。
皆様も還暦、喜寿をむかわれた先輩、知人・同僚から「今年で年賀葉書を止めます」と書かれた知らせを受け取ったことが有るかと思います。その知らせを受け取る度に、私は思うに、「何という輩だ、傲慢な奴め！」との気が生じます。
止めるからには、それぞれにその方の理由が有るかとは思いますが、年に一度のこの年賀状には、短文で出す方の「近況連絡、まだ生きているよ、元気だよ！」の知らせが込められております。ですから当方は、これからも終生出すつもりでおります。
皆様、どうか年賀状を受け取って頂きたいと、強く願っております。

編集部（注）
年賀状については、いろいろな考え方があろうかと思います。
最近は年々年賀状の発行は減る傾向にある、と日本郵便株式会社は発表しています。
しかし、今年はコロナ禍で年賀状が復活の兆しになったようです。つまり会うことが出来ないので年賀状で、という事らしいのです。

そう言えば小生も、今年も訃報のハガキを何通か頂きました。その中で「喪中に付、新年のご挨拶は失礼いたしますが、皆様からの年賀状は喜んでお受けいたします。
励みになります」とありました。

さて、皆さんは年賀状をどのようにお考えですか？